

2007 年 7 ~ 9 月号

(年 4 回発行)

プレス会報 大阪

OSAKA METAL STAMPING ASSOCIATION'S NEWS

News Report

OMSA

▼ TABLE OF CONTENTS ▼

- 委員会活動報告..... 2
- 青年部活動報告..... 6
- 平成 19・20 年度事業運営委員会組織図..... 7
- I S O 旬報 9
- 地引き網体験13
- 技能検定「金属プレス加工」.....14
- サーボプレス利用技術研修会案内.....15
- モデル企業見学会案内.....17
- 全国産業安全衛生大会 2007 in 神戸.....18

社団法人 大阪金属プレス工業会

<http://www.omsa.or.jp/>

委員会活動報告

第1回 総務委員会

- 開催日 6月20日(水)
- 場 所 工業会事務所
- 議 事 (1)平成19・20年度正副委員長の選任

担当副会長	宮永憲一（大阪美錠工業㈱）		
総務委員長	夏山享啓（夏山金属工業㈱）		
総務担当委員長	中辻 康（㈱大喜金属製作所）		
副委員長	佐藤 進（シンコーエステック㈱）	滝野信治（大東プレス工業㈱）	
広報担当委員長	西村哲也（㈱ニシムラ）		
副委員長	児玉敏幸（こだま工業㈱）	間島 進（伊吹産業㈱）	
交流担当委員長	夏山享啓（兼任）		
副委員長	多田 修（プレテック㈱）	島田真輔（カネエム工業㈱）	

(2)会員異動状況

	4/1	入会	退会	8/1
正 会 員	1 1 0	3	1	1 1 2
特別会員	1	0	0	1
賛助会員	2 3	0	0	2 3
合 計	1 3 4	3	1	1 3 6

- マール金属製作所(4/12)
- (株)旭東電機産業(7/1)
- 淡路パッキン(株)(7/6)

- 水沼金属(株)(7/31)

(3)平成19年度事業予定(今後)

- 8月中旬 プレス会報7・9月号発行
- 8月下旬 経営者懇話会
- 10月上旬 第98回理事会
- 11月下旬 プレス会報10・12月号発行
- 12月中旬 第99回理事会
- 12月中旬 忘年会
- 1月中旬 プレス会報1・3月号発行
- 1月下旬 新年賀詞交歓会
- 2月中旬 第2回総務委員会



第1回 安全・技術委員会

- 開催日 6月25日(月)
- 場所 工業会事務所
- 議 事 (1)平成19・20年度正副委員長の選任

担当副会長	小西敏夫 (㈱ゼロム)
安全・技術委員長	津村卓男 (㈱津村製作所)
安全担当委員長 (兼)	津村卓男 (㈱津村製作所)
副委員長	朝田政男 (朝田金属工業㈱) 久成安三 (㈱西谷精巧舎)
	原 郁夫 (㈱理研オプテック)
技術担当委員長	森 譲 (㈱カサタニ)
副委員長	山口登志夫 (山口鉄工㈱) 河合邦晃 (大陽工業㈱)
	佐藤 光 (㈱アマダプレステック)

(2)平成18年度労働災害調査結果

- 調査対象期間 平成18年4月1日～平成19年3月31日
- 調査事業所数 110社 (前年 110社)
- 回答数 54社 (前年 52社) ●回答率 49% (前年 47%)
- 災害発生件数 35件 (前年 19件)
- 災害発生状況別件数 () は前年

①死亡 0件 (0件)	②障害等級1～3級 0件 (0件)
③障害等級4～11級 1件 (0件)	④休業8日以上 27件 (16件)
⑤休業4～7日 2件 (0件)	⑥休業1～3日 5件 (3件)
- 起因別件数 () は前年

①プレス機械 10件 (6件)	②プレスブレーキ 0件 (0件)
③溶接機械 4件 (1件)	④一般機械 2件 (2件)
⑤ロボット・自動機 0件 (1件)	⑥運搬車輛・機器 1件 (0件)
⑦金型・治具 2件 (2件)	⑧安全・防御装置 1件 (0件)
⑨材料・製品 11件 (2件)	⑩建家・床面 1件 (0件)
⑪電気設備 0件 (0件)	⑫その他 3件 (5件)

(3)平成19年度事業予定 (今後)

- 7月14日・15日 技能検定「プレス加工」学科講習会
- 7月21日～24日 同上 実技講習会
- 7月25日～28日 同上 実技試験
- 8月24日・28日 サーボプレス使用技術研修会
- 9月中旬 安全優良事業所見学会
- 11月7日～9日 全国産業安全衛生大会 (神戸)
- 11月22日 第23回プレス安全・環境大会
- 12月下旬 技能検定「金型製作」学科講習会
- 1月下旬 同上 実技講習会
- 1月下旬 同上 実技試験
- 2月下旬 第2回安全・技術委員会



第1回 経営委員会

- 開催日 6月26日(火)
- 場所 工業会事務所
- 議事 (1)平成19・20年度正副委員長の選任

担当副会長	河合寛人(大陽工業(株))		
経営委員長	(兼)河合寛人(大陽工業(株))		
経営担当委員長	南雅佐夫(南鉄鋼産業(株))		
副委員長	新川弘一郎(株)トーキンシステム	宇良 浩	(不二精工(株))
労務担当委員長	東潤一郎(弘和工業(株))		
副委員長	関 健一(飯田金属工業(株))	久池井直實	(株)エスケイケイ(株)

(2)平成19年度事業予定(今後)

- 7月8日(日) 第3回地引き網大会&海鮮バーベキュー
会場：岡田浦漁港(泉南市)
参加者：大人 81名、子供 19名、幼児 21名
参加費：大人 3,000円、子供 2,000円
- 9月上旬 健康ハイキング候補地下見
- 9月中旬 人材確保促進セミナー
- 11月上旬 第9回健康ハイキング
- 1月下旬 新年特別講演会
- 2月下旬 第2回経営委員会



新しく下記の事業所が入会されました。

■ (株)マール金属製作所

入会日 4月12日
所在地 八尾市渋川町 6-15-2
代表者 菅 眞造
資本金 2,500万円
主業務 ガステーブル完成品
ファンヒーター部品
印刷機器、環境部品
自動車部品、建築金物

■ (株)旭東電機産業

入会日 7月1日
所在地 尼崎市東高洲町1
代表者 小八木規之
資本金 8,700万円
主業務 薄板板金加工(配電盤
筐体)、製缶加工
(燃料、オイルタンク)
SUS コンテナタンク

■ 淡路パッキン(株)

入会日 7月6日
所在地 守口市大久保 1-50-10
代表者 千種 督
資本金 1,000万円
主業務 農機・建機等のプレス
部品
シム・パッキン
(再入会)

第2回 ISO 推進委員会

- 開催日 7月3日(火)
- 場 所 工業会事務所
- 出席者 委員長 中谷哲也(㈱ニッケイ加工)
副委員長 宇城孝至(国産部品工業㈱) 三宅国雄(大東プレス工業㈱)
委 員 藤田格平(藤田金属㈱) 阪本節治(明星金属工業㈱)
下村定夫(佐々木工業㈱) 西尾成一(富士端子工業㈱)
事務局 池田昭次郎 実盛 薫
- 議 事 (1) 第2回品質改善セミナーの成果と反省
セミナー記事別掲
(2) ISO14001 内部監査員養成講座
第1次意向調査結果 ISO14001 13名
(回答率 30%) ISO9001 8名
第2次調査を実施する(2万円/人の場合、最低20名必要)
(3) ISO 意識調査
7/6 アンケート実施
(4) 中国進出企業見学研修会
日 程: 9月6日(木)~8日(土)
行 先: 蘇州・上海
参加者: 8名(現地で2名合流)
見学先: 蘇州富士端子有限公司
蘇州大喜金属制品有限公司
(5) ISO 旬報発行
プレス会報7~9月号(8月中旬発行)に掲載



青年部活動報告

4月例会（総会）

開催日 4月18日（水）
場 所 たかつガーデン
出席者 10名
内 容 (1)平成18年度事業報告及び決算報告
(2)平成19年度役員の選任
(3)平成19年度事業計画及び収支予算
(4)新役員の役割分担について
(5)会員増強について



5月例会

開催日 5月18日（金）
場 所 たかつガーデン
出席者 8名
内 容 親会通常総会後懇親会



橋本会長から萩原会長へ

6月例会

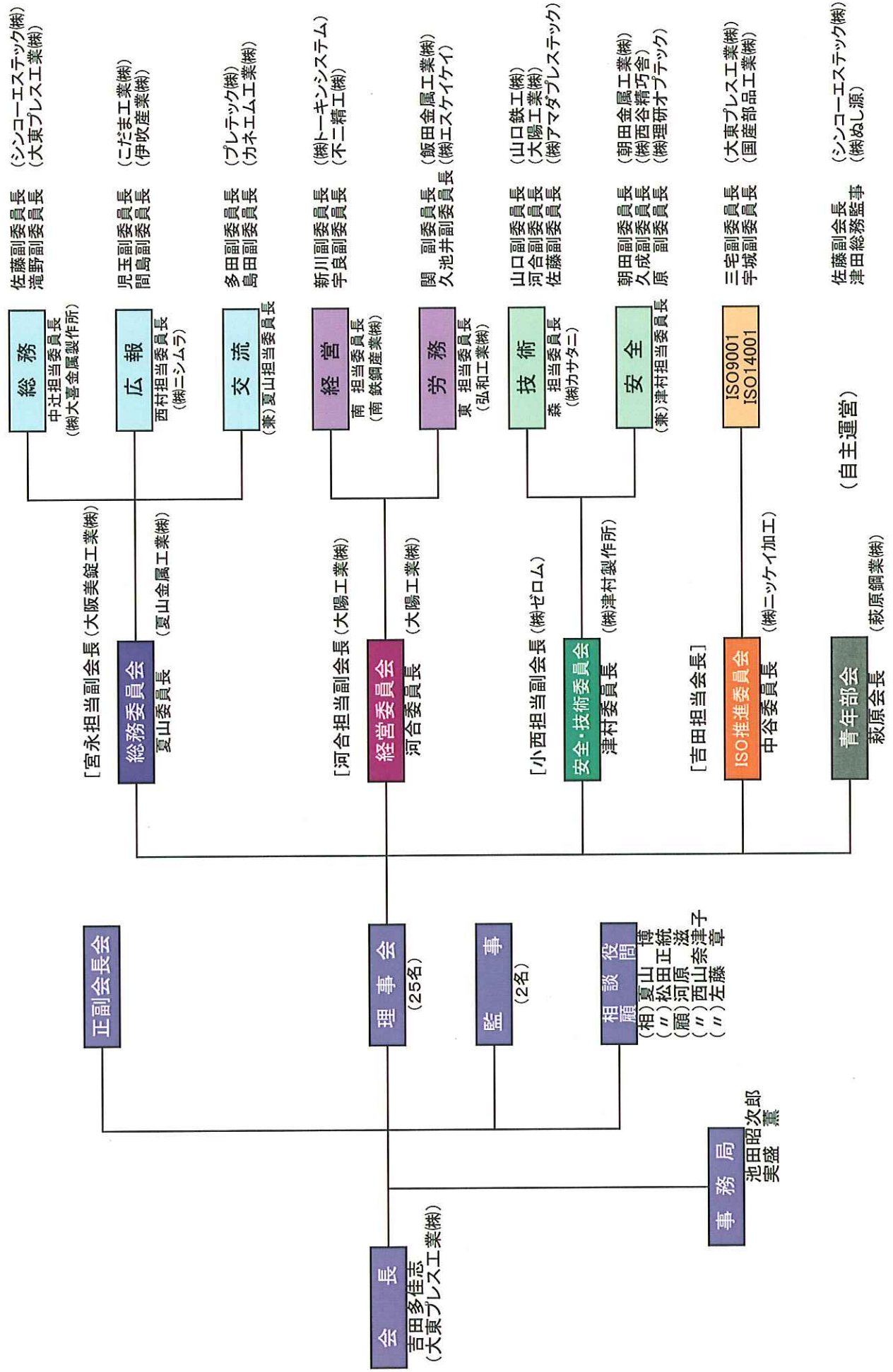
開催日 6月29日（金）・30日（土）
場 所 小樽・札幌
出席者 6名
内 容 自己啓発研修旅行

7月例会

開催日 7月20日（金）
場 所 天王寺魚市
出席者 24名
内 容 現役・OB 合同交流会



平成19・20年度 (社)大阪金属プレス工業会 事業運営委員会組織図



平成19・20年度 事業運営委員会組織

委員会		業務内容	委員			
総務委員会						
総務関係	□総会、理事会の運営 □財務管理 □会員表彰 □事務局の運営 □青年部の育成	アカツキ工業(株) (松浦 保八)	(株)板原金属 (板原 繁)	(株)A T M (岸本 秀夫)	大阪美錠工業(株) (宮永 憲一)	(株)落盛製作所 (落盛 啓司)
		(株)岸本工業 (岸本 太一)	協栄金属工業(株) (室 喜博)	シンコーエスデック(株) (佐藤 進)	(株)大喜金属製作所 (中辻 康)	大東プレス工業(株) (滝野 信治)
広報関係	□部内外に対する広報 □業界関連刊行物の購入 □機関誌の発刊 □会員名簿の作成 □「入会のしおり」作成	池崎鉄工所 (池崎 陽久)	伊吹産業(株) (間島 進)	(株)小野製作所 (小野 利忠)	オリイメック(株) (中西 将雄)	(株)要プレス工業所 (扇谷 迪宏)
		(株)クロダ (黒田 徹)	小出金属工業(株) (小出 孝治)	こだま工業(株) (児玉 敏幸)	(株)白井鉄工所 (白井 良和)	谷本プレス工業(株) (谷本 勝弘)
		東洋ハム工業(株) (野田 剛)	(株)ニシムラ (西村 哲也)	(株)宮本製作所 (宮本 保)		
交流関係	□会員相互の親睦・交流 □異業種交流 □国際交流 □経営者懇話会	伊吹産業(株) (横幕 武夫)	大喜多(株) (大喜多正己)	カネエム工業(株) (島田 真輔)	光和工業(株) (工藤 正光)	(株)寿精密 (近藤 敷)
		(株)ぬし源 (津田 達行)	タチバナ精機(株) (松田 興市)	中央鉄工(株) (田頭 一郎)	夏山金属工業(株) (夏山 享啓)	(株)ニシムラ (西村 公一)
		(株)西村技研 (西村 幸芳)	萩原鋼業(株) (萩原 圭介)	(株)ハヤシ (林 秀昭)	双葉電子工業(株) (宮川 昭夫)	プレテック(株) (多田 修)
		山岡金属工業(株) (山岡 正男)	(株)ユタニ (油谷 紘明)			
経営委員会						
経営関係	□経営情報の提供 □講演会の開催 □行政施策活用推進 □構造改善・経営革新 □見学研修会 □情報化の推進	(株)アサヒ (楠 幸雄)	(株)一倉 (下家 浩正)	宇内金属工業(株) (松永 秀作)	オートインベリアル(株) (三戸 陽)	大阪ケース(株) (乾 慶子)
		(株)関西発条製作所 (豊川 勲)	共同精機工業(株) (松居 悦章)	国産パネ工業(株) (植山 慶次)	小島金属工業(株) (森花 弘志)	(株)サカエ (古田 尚弘)
		佐々木工業(株) (植村 隆)	タカウエ経労研 (高上 憲夫)	(株)寺方工作所 (寺方 泰夫)	(株)トーキンシステム (新川弘一郎)	(株)トーケン (原 正)
		(株)八馬製作所 (八馬 弘樹)	(株)ハマキン (山脇 康夫)	濱田プレス工業(株) (濱田 恵)	(株)ヒロハマ (瀧川 孝)	不二精工(株) (宇良 浩)
		藤原金属(株) (藤原 茂)	(株)マツダ (松田 将英)	水沼金属(株) (水沼 一夫)	南鉄鋼産業(株) (南 雅佐夫)	(株)山本製作所 (山本 敏広)
		吉田精密プレス工業(株) (吉田晃一郎)	日本庄延工業(株) (香川 忠輝)	(株)ニッコー (西村 哲治)	(株)マール金属製作所 (菅 眞造)	(株)旭東電機産業 (安井 賢治)
		労務関係	□人事・労政 □雇用対策 □福利厚生 □見学研修会	飯田金属工業(株) (関 健一)	(株)エスケイケイ (久池井直實)	大石金属工業(株) (大石富久雄)
弘和工業(株) (東 潤一郎)	三星金属(株) (渡辺 叡司)			城東パネ工業(株) (大藪 智弘)	大陽工業(株) (河合 寛人)	(株)田淵製作所 (田淵 善隆)
(株)東洋金属工業所 (木村 敏昭)	(株)東洋プレス工業所 (佐藤 大太)			藤川金属工業(株) (藤川健一郎)	(株)八木製作所 (八木 功勝)	
安全・技術委員会						
安全関係	□安全衛生 □環境管理 □見学研修会 □プレス災害防止対策	朝田金属工業(株) (朝田 政男)	イカリ工業(株) (碓 正逸)	岡本鉄工(株) (岡本 稔)	関発工業(株) (広橋 剛雄)	コマツ産機(株) (大塚 芳男)
		斉藤がスカット工業(株) (斉藤 久男)	淡野工業(株) (松村 茂樹)	(株)津村製作所 (津村 卓男)	(株)寺井発条製作所 (寺井 博文)	(株)西谷精巧舎 (久成 安三)
		(株)初山製作所 (初山 雅男)	(株)森鉄工所 (青木 紘一)	(株)理研オブテック (原 郁夫)	(株)レイメイプレス (下村麻瑛男)	あいおい損保(株) (小南 利正)
技術関係	□技術情報の提供 □教育訓練 □品質・規格 □技能検定 □見学研修会	アイダエンジニアリング(株) (杉原 章夫)	(株)青戸金属 (青戸 義男)	(株)アマダプレスデック (佐藤 光)	宇野金属工業(株) (宇野 憲二)	エス・ティ・プレス(株) (岩井 幸雄)
		(株)カサタニ (森 譲)	川中精器工業(株) (川中 洋二)	(株)ケイ・エム・アイ (木村 勝豪)	クローバー器材工業(株) (松本 茂樹)	佐々木工業(株) (奥村 克毅)
		佐々木産業(株) (草野 松繁)	(資)佐々木製作所 (佐々木 勉)	三洋金属工業(株) (下大川丈晴)	昭栄金属工業(株) (八馬 康浩)	(株)シンエイ (新垣 哲男)
		(株)鈴鹿金属製作所 (宇佐美浩二)	(株)ソディック (黒川 真悟)	大陽工業(株) (河合 邦晃)	(株)辰美電機製作所 (福井 宏樹)	日建ラス工業(株) (福島 忠敬)
		(株)ノチダ (後田 裕三)	八田工業(株) (隅谷 哲三)	林金属工業(株) (林 孝明)	(株)光金属製作所 (木村 一裕)	(株)松永製作所 (松永 考司)
		マルカキカイ(株) (越智 治夫)	丸共工業(株) (植田 祐司)	三谷金属(株) (元生 康夫)	山口鉄工(株) (山口登志夫)	(株)山田トビ・ジャパン (萩原 俊明)
		(株)米田金属製作所 (米田 彰一)	理工相互(株) (武田 正雄)	(株)鉄器アルミニウム製作所 (野呂 隆三)	淡路パッキン(株) (千種 督)	
		ISO推進委員会				
	□新規取得会員への助言 □ISO旬報の作成 □サーベランス対策 □関係法令の整備	明星金属工業(株) (阪本 節治)	国産部品工業(株) (宇城 孝至)	大東プレス工業(株) (三宅 国雄)	佐々木工業(株) (下村 定夫)	富士端子工業(株) (西尾 成一)
		(株)ニッケイ加工 (中谷 哲也)	藤田金属(株) (藤田 格平)			



ISO推進委員会

まえがき

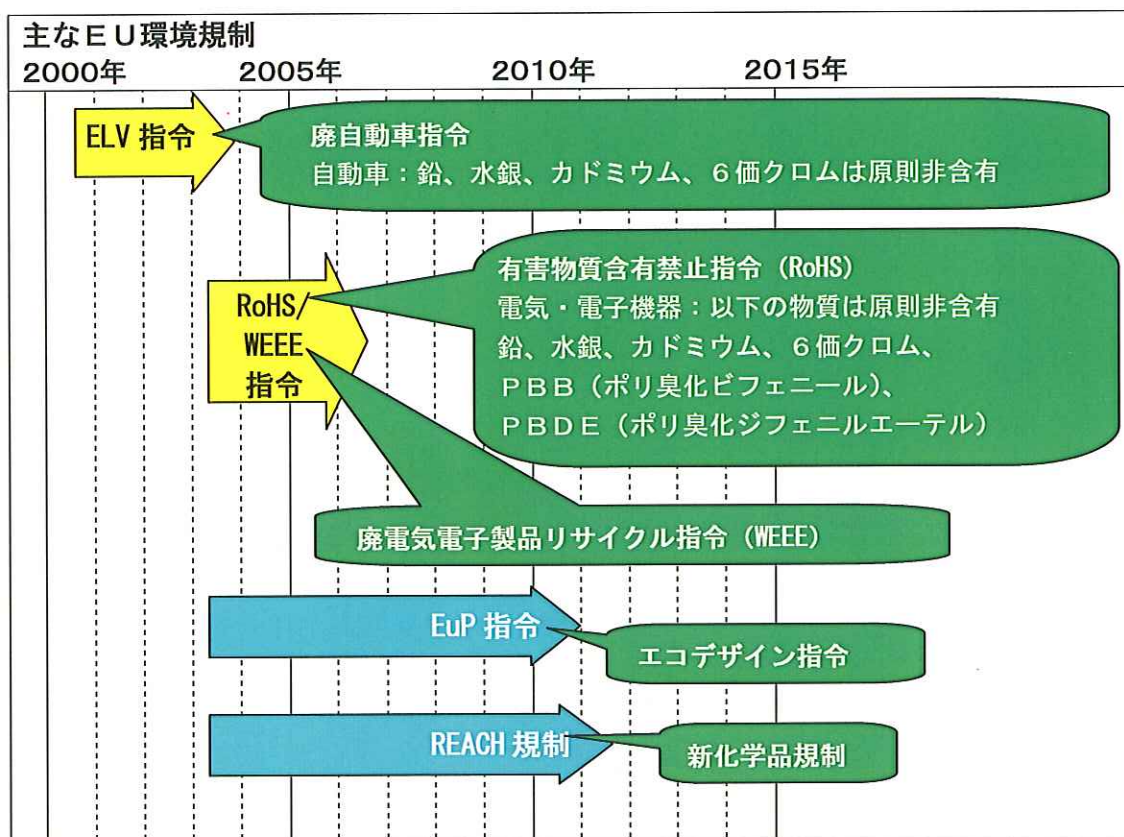
2000年以降、EU(欧州連合)発の環境規制の大波が日本にも押寄せてきています。直接EU市場と取引のない企業様でもサプライチェーンと称して親企業から納入製品の含有物質調査または鉛、水銀、カドミウム、6価クロム、PBB、PBDE の非含有宣言書をエビデンスとともに提出を求められた経験はおありと思います。

今後、環境規制に影響を及ぼすEUの環境規制について紹介させていただきます。

EU(欧州連合)は、EU域内で販売される自動車に対し、鉛、水銀、カドミウム、6価クロムの4物質については、原則使用禁止にするELV指令(廃自動車指令)が、電気・電子機器に対しては、4物質に加えてPBB(ポリ臭化ビフェニール)、PBDE(ポリ臭化ジフェニルエーテル)の2物質も原則使用禁止にするRoHS指令(有害物質含有禁止指令)が既に施行されています。

製品への環境規制は、更に発展、強化されてEuP(エコデザイン指令)やREACH(新化学品規制)に繋がろうとしています。

今回は、ELV指令、RoHS指令、EuP指令、REACH規制を順番に紹介します。



同指令が採択されても、直ちにエコデザインの規制が導入されるわけでない。欧州委が個別機器ごとに「実施対策指令」を設定してゆく際の基本的な考え方やプロセス、さらに実施対策指令のひな型などを規定するものです。

3. 対象になる製品は、次の3つの条件により規定されている。

- ①「意図した働きをするためにエネルギー入力に依存する製品、またはエネルギーを生産、移動および測定するための製品、あるいはエネルギー入力に依存し、本指令で対象とする EuP への組み込みが意図されるもので、最終ユーザーに個別パーツとして販売およびサービス供与され、その環境パフォーマンスが個別に評価できる部品を意味する」とあり、必ずしも最終製品だけではなく、部品も含まれる。
- ②「人あるいは物の輸送手段」が除外され、具体的な対象製品の選定基準として、以下の3項目が示されている。
 - (a) 欧州共同体内でかなりの販売量または取引量がある
(例示的には年間 20 万ユニット以上)
 - (b) 欧州共同体内で著しい環境影響を持つ
 - (c) 当該製品は、過度の費用負担を伴わず、環境影響に関し著しい改善の可能性を示す
- ③電気電子製品が主要な対象になった。例「暖房および温水機器、モーター、照明、家庭用電気製品、事務機器、民生用電子機器および HVAC（暖房・換気・空調）システムなど」

一般的要求事項は、ライフサイクル思考（LCT）に基づくもの。製品のすべてのライフステージに関して様々な環境側面を評価し、その結果をエコロジカルプロファイル（環境側面の定量的分析）として作成するとともに、設計に反映することを要求している。

注）エコロジカルプロファイル：ライフサイクルを通じて製品に関連するインプットとアウトプット（材料、放出、廃棄物など）についての記述を意味し、環境影響という点から重要性があり、かつ測定可能な物理量で表されるもの。

REACH 規制

1. 新化学品規制

「Registration, Evaluation, Authorisation and Restriction of Chemicals（化学品の登録、評価、認可および制限）」を略して名付けられた。EU 全域に共通適用される「規則案」として、2003 年 10 月 29 日に欧州委員会から提案された

2. 2007 年 6 月 1 日に EU（欧州連合）で施行され、3 年半後に規制がスタートする。まだ発効されていない法案だが、今後の日本の製造業に対して大きな影響を及ぼすものとして注目されている。

3. 規制対象

① 化学メーカーだけでなく、下流のユーザー企業も規制対象

物質（Substance）、物質の混合物である調剤（Preparation）、調剤から成形させる成型品（Article）が対象になる。

化学物質を使う産業（インク、材料、部品、電機、自動車、建築など）にまで対象が広がる。物質メーカーと成型品メーカーでは、要求される内容は異なるが、ほとんどすべての製造業が何らかの法的義務を負うことになる。

ELV指令

1. EU廃車リサイクル指令 (2000/53/EC)

「End-of-Life Vehicle」の略称です。

2. 指令内容

- ① 2003年7月1日以降のEUでの新車販売車両については、鉛、水銀、カドミウム、六価クロムの原則使用禁止
- ② 廃自動車のリサイクル目標は、85%のリサイクル可能率、95%の回収可能率が車両型式承認要件になっており、リサイクル率を把握するために、部品を構成するすべての物質を知る必要があります。各自動車メーカーではデータベースIMDS等を利用して、データを収集を行っています。

RoHS指令

1. 電気・電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限に関する指令 (2002/95/EC)

「Restriction of the use of certain hazardous substances in electrical and electronic equipment」の略称です。

2. 指令内容

06年7月1日以降にEUの店頭で販売する電気・電子機器製品について、カドミウム、六価クロム、鉛、水銀、PBB（ポリ臭化ビフェニール）、PBDE（ポリ臭化ジフェニルエーテル）の6物質の原則使用禁止

3. 規制の対象になる製品

家庭用電気器具、IT、通信、AV機器、照明、電動工具、玩具、自動販売機など、電池や電源で動く製品

4. 免除項目

- ① 均質材料部分の含有濃度においてカドミウムが100ppm、その他の5物質が1000ppm
- ② 03年2月の発効当時から蛍光灯の水銀や、ブラウン管、電子製品中の特殊な用途の鉛やカドミウム、鋼、アルミ、銅材料に含まれる一定量の鉛など、免除項目が定められている。

EuP（エコデザイン）指令

1. エネルギー使用製品に対する環境配慮設計要求事項設定のための枠組みを構築する指令 (DIRECTIVE 2005/32/EC)

「Proposal for a DIRECTIVE OF THE EUROPEAN PARLIAMENT AND THE COUNCIL on establishing a framework for the setting of ecodesign requirements for energy-using products」の略称です。

2005年7月にEuP（エコデザイン）の枠組み指令が官報に公示された。

2. 指令内容

エネルギー使用製品に対しエコデザインに関する要求事項を設定するための「枠組み指令」で、ライフサイクル全体での環境負荷を低減するため、製品設計の段階から規制しようとするものです。

②新規物質だけでなく、既存物質も対象

世界的に見て、従来の化学物質規制は新規物質を対象にしていた。法律が制定された時点で既に市場に出回っている化学物質（既存物質）には原則として規制がかからず、新たな物質を販売しようとする際にだけ環境安全性の観点での規制が発生した。

ところが、REACHではありふれた既存物質も対象になる。有害性の有無に関係なく、すべてに「登録」という作業が義務づけられ、登録を終えた物質だけがEU域内での販売が許可される。

③登録は物質ごとではなく、事業者ごとや用途ごと

従来は、ある物質がいったん許可されれば、一部の例外を除いてもはやその物質はどの事業者がどのような用途に販売してもよかった。しかし、REACHでは同じ物質であっても、登録した事業者だけがEUで販売を許可される。

加えて、用途分類の登録も必要になっており、登録用途以外の使い方ができない。これは下流ユーザーの義務で、自らが調達した資材に含まれる物質を、登録用途以外で使ってはならないと明示されている。どうしても使いたければ自ら用途を登録することになる。さらに、自分の顧客に（下流側に）これらの情報を伝達する義務がある。

④輸出企業だけにとどまらない

REACHでは、やがて欧州域内に流通するすべての化学品の組成を物質レベルまでさかのぼれるようになり、どの事業者が作ったかまでを調査できるようになることを目指している。「明らかに有害と判定された物質成分だけを管理する」という従来スキームから、「安全かもしれない多くの物質までを管理する」スキームにエスカレートしたことには疑問を感じる人も少なくないだろう。

一部の有害成分を除きどのような物質が入っているか分からないという従来の状況よりも安心だという論旨である。いま有害性が知られていない物質でも、将来有害性が発見されるかもしれないという前提に基づいているからだ。

ただし、成型品については既知有害物質の含有だけを報告すればよいことになっているが、新たに有害物質が認定された時にはその物質の含有情報開示に速やかに対応することが求められている。

環境アラカルト

冷暖房の効率はどこまで上げられるか（理論値）

エアコンの冷暖房効率の理論値には、43 というものがあります。

300 というのは室温の絶対温度で、7 は外気が 35℃のときに室温を 28℃にする場合の温度差から、 $300 \div 7 \approx 43$ で、これが理論値です。これはつまり、理論上は1kWの電気で43kWの冷暖房ができるということです。この数字は絶対に超えられません。

実際の省エネはどうでしょう。1998年に世界最高効率の商品として売り出されたエアコンが「4」でした。2004年に「6」というのが発売され、2005年に「7」が出て、今年はおそらく「8」が出るのではないのでしょうか。省エネが勝負だと確信した技術屋というのはすごいですよ。すでに当時の2倍近くになっていますから、2050年まであと40数年、理論値が43だと考えると、まだまだ行けるでしょう。

好評により、今年も実施しました！

第3回 地引き網体験

過去最高の120名が参加

経営委員会（東 労務担当委員長）では、7月8日（日）、昨年に引き続き、泉南市岡田浦漁港において「地引き網体験・海鮮バーベキュー大会」を実施致しました。梅雨の中休みの好天に恵まれ、過去最高の120名の参加をいただき、成果も上々で帰りには、くじ引きで16名の方にお土産（魚介類セット）を持ち帰りいただきました。

今回から、昨年11月開設の「日曜青空市」横の岡田浦新港にて地引き網ならびに海鮮バーベキューを行いました。

〈参加者〉 企業数 18社

内 訳 大人：80名、 子供：19名、 幼児：21名



平成19年度 前期技能検定 「金属プレス加工」実技試験終わる

(社)大阪金属プレス工業会では、平成19年度前期技能検定「金属プレス加工」職種の实技試験を、大阪府より委嘱を受けて実施した。

試験会場は、昨年に引き続き大阪府立南大阪高等職業技術専門校人材開発センター（和泉市テクノステージ）で行った。

試験日 平成19年7月25日(水)～28日(土)
会場 大阪府立南大阪高等職業技術専門校

本年は、1級16名、2級66名の計82名が受検、昨年(75名)を上回った。

本試験に先立ち、技能検定補佐員及びOBの方々の指導により、7月21日(土)～24日(火)の4日間、同会場において準備講習会を実施、52名が受講した。



準備講習会



試験前説明



実技試験

一方、学科試験については、7月14日(土)・15日(日)の2日間たかつガーデンにおいて、松下電器産業㈱OBの北山信雄氏を講師に迎え、学科および実技ペーパー試験の準備講習会を実施した。

試験は、8月26日(日)関西大学において行われる。



会 員 各 位

平成 19 年 6 月 29 日
(社) 大阪金属プレス工業会
技術担当委員長 森 讓

サーボプレス利用技術研修会のご案内

日本自転車振興会の平成18年度公設工業試験研究所の設備拡充補助事業により、大阪府立産業技術総合研究所殿に今春設置されました「ACサーボプレス装置」の利用技術講習会を同研究所殿のご協力により、下記の通り開催致しますのでご案内申し上げます。

記

◆日 時：平成19年8月24日（金）・28日（火）13:30～16:00

◆場 所：大阪府立産業技術総合研究所（〒594-1157 和泉市あゆみ野2-7-1）

◆対象機器：ACサーボプレス装置

生産拠点の海外移転、国内空洞化が深刻な問題となっている中、プレス加工業界では海外生産では対応できない高品質・高付加価値の成形が求められています。採用する加工法に最適化したプレスモーションを実現することのできるサーボプレスは、これまで困難とされていた高精度成形、難加工材成形や省エネ成形に対応できる加工機器として、普及が広まりつつあります。

本講習会では、このたび新規に設置されました下記の装置について、デモンストレーションを交えながら、操作方法の説明や機能の解説を行います。

【本講習会に用いる機器の主な仕様】

本体構造：鋼板製Cフレーム構造、 加圧能力：2,000kN、 ストローク長さ：250mm、
ダイハイト：450mm、 スライド調節量：120mm、 ボルスタ寸法：幅 1,450mm×奥行 840mm、
スライド下面寸法：幅 850mm×奥行 650mm、 下死点繰返し精度：±20 μm、
付属装置：荷重計（スライド位置とともにPCに取込み可能）、
サーボモータ式ダイクッション（加圧能力 200kN、ストローク長さ 100mm）、
レベラフィーダ（通板可能板厚0.3～3.2mm、適用板幅30～300mm）、他

◆定 員：各10名

◆費 用：無 料

◆実習担当：大阪府立産業技術総合研究所

機械金属部 加工成形系 白川信彦 主任研究員

(社) 大阪金属プレス工業会 事務局宛

FAX 06-6762-7633

Mail omsa1@omsa.or.jp

サーボプレス利用技術研修会 参加申込書

事業所名			ご担当者		
参加者名	職 名	プレス経験年数	受講希望日		
			8/24	8/28	

※ 2名お申込の場合、受講者多数の時はご相談の上、1名とさせていただきます。

大阪府立産業技術総合研究所交通案内図（略図）



和泉中央バス乗り場5番から研究所方面へのバスが出ております

和泉中央発バス時刻

10時～16時：0, 30分

会 員 各 位

(社)大阪金属プレス工業会

安全・技術委員会

安全担当委員長 津村卓男

技術担当委員長 森 譲

安全・技術モデル企業見学会のご案内

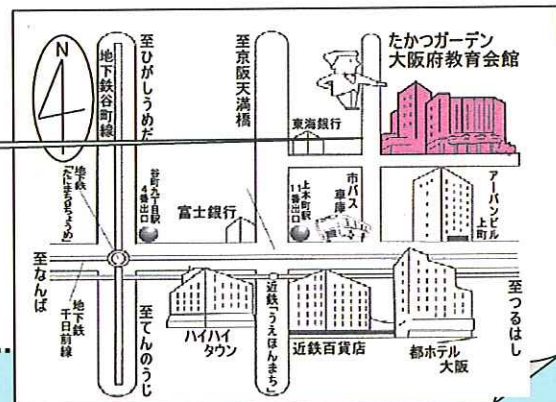
前略 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、安全・技術委員会では本年度の見学先として、昨年本社を大阪から鳥取工場に移管されました、当会会員の(株)寺方工作所殿を選定致しました。同社はプレス金型設計製作を中心に精密プレス加工を60年にわたり創業を続けられ、現在では機械加工と同じ製品をプレス加工での製作を実現するなど、豊富なノウハウをお持ちです。また、安全面においても徹底した安全管理体制のもと水準の高いプレス部品を提供されています。是非、同社を見学いただき、自社の工場にお役立ていただければ幸甚です。多数のご参加をお待ちしています。

敬 具

記

1. 日 時 9月20日(木) 8:30集合
2. 集合場所 たかつガーデン西側
3. 参加費 無 料
4. 定 員 35名
5. 見 学 先 (株)寺方工作所
6. 会社概要 <http://www.terakata.jp> をご参照



ご挨拶

1946年、寺方伊三夫が金型製造業として大阪で創業いたしました。

時代と共に生産している製品がガス機器、マイクロスイッチ、リミットスイッチ、ファクシミリカッター、コンデンサー、プリンター、レジスターカッター、パソコンディスプレイの部品から現在ではピストンリング、空圧機器、ハードディスク、携帯電話のヒンジ、自動車制御部品とかわりました。また、形状も薄板を打ち抜いたり曲げたりすることから厚板を立体的に成形する鍛造的な加工へと変わってまいりましたが、ものづくりに対する考え方は創業以来変わりなく、寺方工作所は時代の要求する製品の加工法を考え、他社では真似のできないオリジナリティーを確立することを目指しています。

これこそが時代を乗り越える最強の要因と確信しているからです。このため高難度をクリアし高精度を追求し、豊富に蓄積されたノウハウの全てを製品に活かし、プレス加工で作ったと思われないほど、水準の高いプレス部品の工法開発に全力を注いでいます。

皆様のお越しを心からお待ちしております。



代表取締役社長 寺方 泰夫

(社)大阪金属プレス工業会

FAX 06-6762-7633

9/20 安全・技術モデル企業見学会参加申込書

会 社 名				担当者名	
参加者名	1	役職名		氏 名	
	2	役職名		氏 名	



ベテランが 次代にたくす宝物 技と誇りと安全観



第66回
(平成19年度)

全国産業安全衛生大会 2007 in 神戸

11/7(水)～9(金)



会場

- 総合集会
ワールド記念ホール(ポートアイランド内)
11月7日(水)
- 分科会
ポートアイランド内各会場
11月8日(木)、9日(金)



主催 中央労働災害防止協会
協力 (社)兵庫労働基準連合会
協賛 建設業労働災害防止協会、陸上貨物運送事業労働災害防止協会、港湾貨物運送事業労働災害防止協会
後援 林業・木材製造業労働災害防止協会、鉱業労働災害防止協会
厚生労働省、経済産業省、環境省、警察庁、兵庫県、神戸市
ILO
お問合せ先 中央労働災害防止協会 教育部 企画課 03-3452-6402 <http://www.jisha.or.jp/>

JISHA
中災防

同時開催 緑十字展2007
11月7日(水)～9日(金) 神戸国際展示場

第66回(平成19年度)

全国産業安全衛生大会 2007 in 神戸

ご案内

大会開催期間……………平成19年 **11月7日(水)～9日(金)**

総合集会……………11月7日(水)【会場】ワールド記念ホール(ポートアイランド内)

分科会……………11月8日(木)～9日(金)【会場】ポートアイランド内各会場

総合集会特別講演



松下電器産業(株) なかむら くに お
代表取締役会長 **中村 邦夫** 氏

松下電器の取組み

～お客様価値向上を目指して～

プロフィール

昭和37年大阪大学経済学部卒業後、松下電器産業(株)へ入社。平成元年アメリカ松下電器(株)パナソニック社社長に就任。平成5年松下電器産業(株)取締役役に就任の後、平成9年専務取締役、平成12年取締役社長を経て、平成18年6月より取締役会長として現在に至る。

また、現在(社)日本経済団体連合会評議員会副議長、IT戦略本部員、アジアゲートウェイ戦略会議委員等々つとめている。

分科会日程

テーマごとに3部会・14分科会を設けています。安全衛生についての改善例など、全国の事業場等の研究発表をはじめ、有識者による講演、今日のテーマのシンポジウムなど多彩なプログラムをご用意しています。

部会・分科会	日 程	
安全衛生総部会	8日	9日
リスクアセスメント/ マネジメントシステム	●	●
中小企業	●	
第三次産業		●
ゼロ災運動	●	
R S T		●
海外安全衛生	●	
化学物質管理	●	

部会・分科会	日 程	
安全部会	8日	9日
安全管理活動	●	●
機械・設備等の安全	●	●
ヒューマンファクター	●	●
交通安全		●
衛生部会	8日	9日
労働衛生管理活動	●	●
健康づくり	●	
メンタルヘルス		●

【参加費】●一般……………1名12,500円

●賛助会員……………1名 6,200円(会員1口につき1名)

【申込み方法】「全国大会案内書」(6月上旬発行予定)の中の申込書によりお申し込みください。「全国大会案内書」は中災防本部、各地区の安全衛生サービスセンター、最寄の労働基準協会他にご請求ください。

【問合せ先】中央労働災害防止協会 教育部企画課

TEL 03-3452-6402(直通) 中災防HP <http://www.jisha.or.jp/>

中災防 賛助会員へのご入会をお待ちしております

(平成19年4月作成)



社団法人 大阪金属プレス工業会

〒543-0001 大阪市天王寺区上本町 5-5-15

TEL (06)6762-8629 FAX (06)6762-7633

<http://www.omsa.or.jp/>

[mail:omsa1@omsa.or.jp](mailto:omsa1@omsa.or.jp)